

令和2年度
むつあいの教育

1 学校教育目標

「花と泥と太陽の子～睦っ子の育成」

花 礼儀正しくやさしい子…（徳育）
個性あふれ、思いやりのある心豊かな子どもの育成

泥 自然に親しむ元気な子…（体育・食育）
精一杯遊び、よく噛んで食べ心身ともに健康でたくましい子どもの育成

太陽 進んで学びがんばる子…（知育）
自分を表現でき、課題を進んで解決しようとし、最後まで頑張る
子どもの育成

2 学校経営の努力点

- (1)花（徳育）・泥（体育）・太陽（知育）の教育の調和のもと、新学習指導要領の理念を踏まえた教育課程の実施に努め、定期的な工夫・改善をする。
- (2)確かな学力を育むため、次のことに力を入れその指導と評価、改善に努める。
 - ・主体的・対話的で深い学びを取り入れ、「山梨スタンダード」に則った授業づくりに取り組む。
 - ・家庭と連携し、「家庭学習の手引き」等を活用して、家庭学習の定着と充実を図る。
 - ・特別支援教育の充実を目指し、個に応じた適切な指導方法を研究する。
 - ・音読、言語指導、読書活動の工夫などにより、国語力の向上に努める。
 - ・I C Tの活用により学習効果を高める。（デジタル教科書、タブレット端末）
 - ・英語教育・プログラミング教育の実践と評価。
- (3)運動や遊び、体力づくりを推進し、体力の向上と運動好きな児童の育成に努める。
- (4)健康・安全指導及び食教育を推進し、健康・安全についての実践力と防犯・防災に関する危険回避能力の向上を図る。
- (5)適切な児童理解と望ましい集団活動等による生徒指導により、楽しい学校生活を実現すると共にいじめ・不登校防止対策の充実に努める。
- (6)「特別の教科 道徳」を要として、より良く生きるための資質を養う道徳教育の充実に努める。
- (7)開かれた学校づくりのため、学校開放日等の教育活動公開日を設定したり、学校だより、学年（学級）だより等を利用したりして、家庭や地域社会へ情報発信に努める。また、町の教育支援センターと連携して、地域学習や体験活動を通じて地域人材の活用を図る。
- (8)保育所・幼稚園・中学校との情報交換や活動連携をすることにより、児童のスムーズな成長・発達のため幼児教育や中学校教育との連携を推進する。

3 具体的目標

(1) コミュニケーション能力を身につけた子どもを育てる。

- ⇒ ・人の話や意見をしっかり聴く姿勢を身につける。
・話し方や発表の基本的な「話形」を教え、**系統的な指導を行う**。
・活発な話し合い活動を取り入れる。

(2) 基本的な生活習慣をしっかりと身につけた、心豊かな子どもを育てる。

- ⇒ ・あいさつ・返事・言葉遣いなどの望ましい姿を身につけ、その習慣化を図る。
・「早寝、早起き、朝ご飯」を含め、規則正しい生活習慣の定着を図るため、学期毎の生活点検表の取り組みなど、家庭と連携してその充実を図る。
・道徳の授業と学校全般の教育活動を関連させ、心豊かな子どもの育成とその態度化を図る。

(3) 自分の健康と体力に関心を持ち、健康でたくましい子どもを育てる。

- ⇒ ・**体育の授業や体育行事を通じて**自分の体力を知り、体力づくりに意欲的に取り組む態度を身につける。
・体育の授業等を工夫し、一校一実践運動等を通して、運動好きな児童の育成に努める。
・給食の時間を中心として、望ましい食生活のあり方を指導する。
・うがい、手洗い、歯磨き等の習慣化を図り、健康への関心態度を高める。

(4) 仲間と協力し、主体的に粘り強く活動し、仲間を大切にする子どもを育てる。

- ⇒ ・教育活動を通して、**児童の交流を図り、仲間を大切にする態度や**主体性と協働性とを持って粘り強く取り組む態度を育む。
・一人一人に活躍の場を設定し、成就感・達成感を味わわせ、自己肯定感を育む。
・係や委員会活動、清掃活動を通して、望ましい態度を身につけ、その意義や大切さを指導する。

(5) 自分で学習課題を見つけ、自主的・計画的に学習する子どもを育てる。

- ⇒ ・「山梨スタンダード」を基本とし、めあての確認や振り返りを重視して、児童一人一人がよく考え、関わり合いながら問題解決する授業に取り組む。
・**自学力を高めるため、時間を意識した「家庭学習」の習慣化を図るとともに**、「自主学習」を定着させるため、取り組みへの具体的な支援をする。
・デジタル教科書やタブレット端末を**教材提示や自分の考えを説明するための道具として活用させる**。
・読書の習慣化と読書の質と量の向上を図る。
・学力テストの結果などを参考に、個に応じた指導の充実に努める。

(6) 自然を大切にし、地域から学び、地域を愛する子どもを育てる。

- ⇒ ・花づくりや作物づくり等、栽培の喜びに直接ふれる活動に取り組む。
・地域を生かした教材や地域の人材を積極的に活用することで、**地域を深く学ぶ機会を設け、地域を愛する態度を養う**。
・子どもの健全な成長・発達のため、保幼小中の連携を図る。